

令和4年度 第2回学校運営協議会会議録（報告）

記録者：副校長 西里 孝義

事務長 佐々木孝幸

1 日 時 令和4年10月13日（木）13：30～14：00 授業見学
14：00～16：00 学校運営協議会

2 場 所 大会議室

3 出席者 11名／15名（学校運営協議会委員）

菊池 勝 様（北上市議・ヤマコ総合事業（有）代表取締役）

澤藤 耕平 様（退職校長会和賀会事務局長）

盛島 徹 様（北上市立南中学校長）

小原 享子 様（北上市議）

小原 和雄 様（北上コンピュータ・アカデミー校長）

軽石 卓也 様（前PTA会長）

齊藤 明 様（（有）ポス企画取締役 薬剤師 部活動指導員（器楽部））

高橋 樹久 様（部活動指導員（鬼剣舞部））

<学 校>

校 長 寒河江 和 広

副校長 西 里 孝 義

事務長 佐々木 孝 幸

4 次第（進行：副校長）開会の前に配布資料確認の確認をいたします。

○開式のことば（副校長）4名の委員の方が所用のため欠席しております。

（1）校長挨拶

本日は、お忙しい中、皆様に御出席いただきましてありがとうございます。日頃から本校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。本日は前回同様委員の皆様から御意見をいただく他に県教委に提出します「スクール・ポリシー」について御参加の皆様から御意見をいただきまして、修正を加えて提出したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

（2）議事進行：会長（澤藤様）会長が議長となり議事を進行。

前回より会長を仰せつかりました。澤藤です。前回欠席で今回出席された方もいますので、自己紹介をお願いします。（前回欠席の菊池勝様と小原享子様自己紹介）

それでは、校長先生から学校概況説明をいただきます。

（3）学校概況説明

（議長：澤藤）校長先生お願いします。

校長：

<校長通信N o 4>から、高校総体プログラム図案最優秀賞、フェンシング部インターハイ出場、陸上競技部、新体操部東北大会出場について内容報告

<校長通信N o 5>から、教育実習生を行った加藤怜さん（東京女子大）は、栃木国体フェンシング競技岩手県選手として参加し、団体戦第2位と活躍

<校長通信N o 6>から、昼食販売について、セブンイレブンの制服を着用して販売実習をしている。鬼剣舞部の発表会で大船渡東高校太鼓部、岩崎鬼剣舞スポーツ少年団とコラボし成功

野球部は、応援選手を借りて単独チームで出場

Classiを導入し、自宅でもオンラインで学習ができる環境を整備

<校長通信No 7>から、(株) 南部電気工事様、北日本銀行様から新聞閲覧台と閲覧机用仕切り板を寄贈

本校に水田があることが知られていないので、昨年看板を設置 5月に南小の児童と植えた稲を 10月7日(金)に南小の児童と稲刈り体験

生徒会中心に中学生1日体験入学を実施

<校長通信No 8>から、北上市議会だよりの第1回目を是非本校とお願いし、フェンシング部と新体操部を掲載

今年度も北上ロータリークラブ様の御協力で、3年生の就職面接練習を開催

<校長通信No 9>から、鬼剣舞部が優良賞を受賞(全国3位相当)、フェンシング部女子インターハイ出場について

<校長通信No 10>から、ホームページをリニューアル、noteを見ていただくと先生や生徒が記録した最新情報がブログ形式で掲載されています。ぜひ御覧を。

1日体験入学については、生徒主体で企画来場者のアンケート結果は、268名中267名が進路選択の参考になったと回答

ボランティア活動について、翔南高校生の記事も多数掲載ぜひ御覧を。

<校長通信No 11>から、9/20日は台風14号の影響を考えて臨時休校

後期生徒会役員選挙が行われ、新役員が決定今後、北上翔南高校を盛り上げてくれることを期待

翔南祭が保護者限定で公開、来場者は442名コロナ禍の中現在できることを工夫して実施

プロジェクターを使用し説明・・・noteについて、生徒の様子がアップされ更新されている。

ブログ、写真等、最新の情報発信に力を入れている。説明終了

<小原享子委員>

Q: noteは面白いと思う。校長決裁ルートはどのようになっているか

A: 生徒→顧問→情報担当→校長決裁→情報担当で修正して掲載、なるべく文書は顧問が確認

<菊池 勝委員>

Q: アップ回数とアクセス回数は?

A: 何かあれば更新します。

<小原享子委員>

Q: HP担当は何人ですか。また、更新していない学校もあるが、更新の問題はどうなっていますか。業者は検討しないのか。

A: 担当は3人ですが、主担当は1人です。現在講師が担当しています。noteを導入して現在の方法をとっている。なるべく生徒の記録(写真)を掲載している。生徒目線で作ってもらいチェックして公開していく。

<議長 澤藤>「スクール・ポリシー」について校長先生から説明いただきます。

校長: p5をご覧ください。

「グラデュエーションポリシー」は卒業までに身につく力、このような生徒を育てたい。

(礼儀、マナー社会のルールなど) また、鬼剣舞部のように地域社会の文化を継承させたい。

「カリキュラムポリシー」は本校での3年間の学びをまとめたもの。1年次「産業社会と人間」の授業を通してキャリア教育を充実させている。

2年次、3年次は教科横断的かつ探究的学習を充実させている。また、富士大学と連携し、大学教員の講話を受講したり、地元企業人から世の中を生き抜く力について学んでいます。

「アドミッション・ポリシー」は入学生に期待している内容、将来について考え、実現させる力、地域活動、部活動、学校生活への取組、校則については、生徒と話し合い中。時代に合った校則にしたい。思いやり優しさを持って、仲間作りをしたい生徒に入学してほしい。

魅力化協働パートナーとして、4団体等を挙げさせていただきました。御意見を伺いたい。

<澤藤耕平委員>校長先生からスクール・ポリシーについて説明いただきました。何か聞きたいことはありますか。

<澤藤耕平委員>

Q：卒業研究について、論文の書き方は何年生ですか。

A：3年生で全員に論文の書き方を指導している。

<小原享子委員>

Q：課題研究について、どれくらいのグループで取り組んでいるか。

A：2年次は3～4人のグループで取り組んでいるが、3年次は一人一テーマです。テーマ選定に教員は口を出さない。「ランニングシューズの効果的な選び方」など、なかには面白いテーマもある。

Q：発表会はありますか。

A：全年次に見せて、いいものは、冊子にしている。

Q：学校を超えて学校代表が集まっての大会ありますか。

A：今はオンラインになっているが、ある。

Q：富士大学の先生が関わっているか。何名？

A：生徒の部分で発表を見て、コメント、アドバイスを頂いている。6名の方が入っている。

<盛島徹委員>

Q：学校としての数値目標はありますか。

A：学校経営計画で示しております。

<盛島徹委員>意見：アドミッション・ポリシーはどのような学校目標なのか分かりやすい。

A：2月頃には、全ての県立高校で出ていると考えている。

<小原享子委員>

Q：この目標は毎年度見直すのか。

A：毎年見直すものではないが、校長や状況が変わればその可能はある。

Q：各学校比べる機会はありますか。

A：県教委に見本はなかったが、他校のものを見比べたり、全国のものを参考にしたりして作成した。県教委より表現等の修正指示はあるかもしれない。

<議長 澤藤>

Q：翔南らしいのは、カリキュラムポリシーか。その他は他校とほぼ同じにならないか。

A：同様のものとなる可能性はある。他の総合学科ではどのようなものが出ているかそれを含めての修正があるかと思います。

<小原和雄委員>

Q：翔南らしさ、グラデュエーションポリシー同じかもしれないが「主体性」、「社会性」がよいインターシップの活用はどうなっていますか。学校は、期間を限定しているか。

A：2年次では、全員が好きな企業へ行っている。生徒自ら企業に電話をかけてアポをとり実施している。

受け入れできない企業は掲示して、情報を他の生徒と共有している。

また、実施に当たっては、先生方が巡回している。ほぼ全員実施している。

コロナ対応もあり大変だ。

<小原和雄委員>意見：受け皿を探すのは、大変ですので、生徒自らが行うのは良いと思います。

<菊池勝委員>

Q：校則を生徒会で先生と検討しているのは素晴らしい取組だ。

A：整容点検は生徒は嫌がる。生徒の意見を出して見直しを検討、運動着男子→ブルー、女子→ピンクを統一してはどうかとの意見あり。生徒たちデザイン等について会議して検討ラインを学年別とする案がある。

<小原享子委員>

Q：魅力化パートナー、部活動指導員の状況はどうなっているか。人数、予算確保は。

A：陸上競技部、バレーボール部、器楽部、鬼剣舞部に支援員を配置している。

専門家に入って支援していただき、生徒も喜んでいる。

数年後には地域で対応していければいい。

【意見交換】

<齊藤明委員>

さくらホールは設備やスタッフが優秀、生徒がステージに上がる経験は必要

校歌を全校で歌うのは素晴らしいこと。南小、南中、翔南と同じ地域なので連携が良い。

<校長>

校歌を毎朝流している。歌う機会はない。

南小とは、田植えや、稲刈りを一緒にやっている。中学校に米の販売チラシを持参し、アピールしている。一緒に歌う機械については検討していきたい。

<高橋樹久>

先日文化祭を一部公開して実施できて3年生は喜んでいたと思います。進路や大会参加等

許可願のハードルが高い。校則等も厳しくないか。

<校長>

許可願については、副校長が決裁しているので、どのような流れが必要か検討してみたい。

朝の登校指導は止めました。スリム化、簡略化は、考えていきたい。校則については、昔風なことは改善していきたい。

<軽石委員>

n o t eは良い方向に行っている。中学校の親にアピールできれば良い。富士大学との連携について発信してほしい。第3駐車場暗くて見えにくい。

<校長>

外灯についての安全面については、市に要望していく。

<菊池勝委員>

今年度から導入のC l a s s iの利用状況について

<校長>

総合学科のため普通高校のように時間割変更が対応できないことから授業に穴を空けないように

C l a s s iを活用している。動画視聴の後、オンラインテスト等で自学自習ができる。ただし、利用している先生もいれば、そうでない先生もいる。C l a a s iは、自宅でも活用できる。現在の程度の活用かは調査していない。

学校はI C T化が進んでいる。C l a s s i担当職員が支援しているが、もっと活用してほしいと思っている。

<小原和雄委員>

スタディーサプリ（リクルート）について、2、3年前活用したが、コロナの際活用できたか。

その頃にC l a s s iできたか。

<校長>

スタディーサプリ（リクルート）は検討したが、本校生徒には中学校の復習ができるC l a s s i
がいいと思った。前からC l a s s iはありました。学習動画が充実し、安い。

以上、時間となりましたので、これで議長の任を終わります。御協力ありがとうございました。

次回は、2月としたいと思います。日程調整を行います。

<校長>次回は、学校評価、学校経営についてお願いします。

○閉式のことば（副校長）